

# 平成 28 年度中学生チャレンジテスト

## 第 3 学年 国 語

### 注 意

- 1 調査問題は、1ページから24ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。  
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号、男女を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

左に、生徒アンケートが二問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

#### アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるもの一つずつ選びなさい。

- (1) 国語の授業の内容はよく分かる。……………①
- (2) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。……………①

①	当てはまる
②	どちらかといえは、当てはまる
③	どちらかといえは、当てはまらない
④	当てはまらない



問題は、次のページから始まります。

□ 鈴木さんたちのクラスでは「職場体験学習で学んだこと」をテーマに、同じ職場で体験をした友人たちのグループがそれぞれ話し合い、学んだことをまとめ、その成果を互いに発表し合う学習をしました。次は、機械の部品をつくる「なにわ機械製作所」で体験をした鈴木さんたち六人グループの【話し合いの一部】【発表で使用するフリップの一部】<sup>注</sup>【発表練習の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

注 フリップⅡ説明に用いる図や絵、言葉などを書いた大型のカード。

### 【話し合いの一部】

鈴木さん 次に、今回の体験学習で学んだことについて、それぞれ感じたことなどを出し合いながら、まとめていきましようよ。

佐藤さん 初めて工場に入った時、みんなどうだった？ 私は、工場内のピンと張りつめた空気っていうのかなあ、全体の雰囲気ふんいきに圧倒おぼろされちゃって……。緊張きんちやうで全身ガチガチだったけど、でも何かわくわくしたなあ。

井上さん 私も同じ。工場は広いし、天井は高いし、機械はいっぱいあるしね。それに、作業をしている人たちの表情がすごかったなあ。確かに、少しも気が抜けない仕事だね。

吉田さん それね、あとで聞いた話だけど、集中力と持続力がないと失敗するからって話しておられたよ。部品のでき具合ひとつで完成した機械の状態が変わってくるので責任重大なんだって。厳しいよね。

佐藤さん 本当だね。工場のみなさんがそのように責任感をもって仕事をされていることは、体験しないとわからなかっただろうな。仕事をするということは、責任を果たしていくということなのかな。

山下さん そう。どんな仕事でも責任をもってしなければならぬものだけど、ものをつくりだす仕事は、特に大きな責任がかかってくるから、そのぶん、ほこりのある仕事だって、私たちの担当の方も話されていたよ。

### 【フリップ①】

#### なにわ機械製作所

- ・ 製品 ネジ、ボルトなど
- ・ 住所 大阪市中央区
- ・ 創業 1955年
- ・ 従業員 43名

### 【フリップ②】

#### 工場での仕事で必要な事柄<sup>ことがら</sup>

- ・ 専門的な知識と技術
- ・ 集中力と持続力
- ・ 体調管理

### 【フリップ③】

#### 体験学習で学んだこと

- ・
- ・ 安全第一への<sup>はいりよ</sup>配慮
- ・ あいさつなどの大切さ

### 【発表で使用するフリップの一部】

石川さん それらが私たちに伝わってきたから、たぶん、みんな緊張していたのよね。将来どんな仕事に就いてい

るかかわらないけれど、私も工場で出会ったみなさんのように仕事にほこりをもって働きたいと思ったなあ。

鈴木さん じゃあ、今のみんなの話からだと、工場での体験学習で学んだことの一つは、工場のみなさんの仕事へのほこりと責任感でいい？

石川さん いいと思うよ。

山下さん 体験学習で学んだことを三つにまとめていくという話だったけど、次に安全ってことも入らないかな。

吉田さん それも、伝えたい一つだね。体験してみないとなかなかわからないことだから、ぜひみんなに伝えようよ。

これから発表を始めます。

私たちグループ六名は、機械の部品をつくる「なにわ機械製作所」に行ってきました。（ここで【フリップ①】を提示）工場は、本校の体育館ほどの広さがあり、そこで四十三名の方が作業をしていらっしゃいました。この

**I** のイラストを見てください。工場の中には、初めて見る製作機械がたくさんありました。

私たちは担当の方に教えてもらいながら二人一組になって作業をすることになりました。一日めは、見学です。工場にある機械や製造過程、工場全体の仕組みなどについて説明を受けました。その後、実際に扱う機械について、それぞれの担当の方が作業の合い間にいいいに説明してくださいました。二日めから、いよいよ作業を開始しました。この

**II** のイラストを見てください。この機械で部品づくりに取り組みました。最後には良い部品もできたんですよ。

〈略〉

さて（ここで【フリップ③】を提示）、今回の体験学習で学んだこととしては、仕事の難しさなどは言うまでもありませんが、まず、工場のみなさんのものづくりという仕事に取り組み姿勢から

**A** を感

じたことです。完全で良いものを常につくろうとされています。二つめは、安全を第一にあらゆるところに気が配りがなされているところです。機械の配置はもちろん、工具もきちんと整理されています。危険を伴う仕事なので、少しの気のゆるみも大きなけがにつながるということなのです。この

**III** のイラストを見てください。「安全は、靴見て！服見て！帽子見て！」、わかりますよね。また、三つめは、あいさつや返事や言葉づかいなど社会のルールの大切さを改めて感じたことです。いずれも身近で体験させてもらえたからこそ、わかったことだと思っています。

1 【話し合いの一部】の「わくわく」と同じような気持ちを表した言葉として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 満足
- イ 心配
- ウ 失望
- エ 期待

2 【フリップ③】と【発表練習の一部】の 

A
---

 には同じ言葉が入ります。その言葉を【話し合いの一部】から十一字で抜き出さない。

3 【話し合いの一部】での各自の発言に関する特徴を説明しているものとして当てはまらないものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 鈴木さんは、話し合いの方向性を提案したり、みんなの思いや感想をまとめたりするような発言をしている。
- イ 佐藤さんは、話のきっかけとなるようなことを尋ねたり、同調して話を進めたりするような発言をしている。
- ウ 吉田さんは、別の話に切りかえたり、友だちに質問をして話題をふくらませたりするような発言をしている。
- エ 山下さんは、これまでの話の内容を広げたり、新たな事柄へと話を展開させたりするような発言をしている。

4 鈴木さんたちは、【発表で使用するフリップ】を作成するときにある工夫をしています。フリップを見た人がすぐわかるように工夫したこととして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 伝えたい内容を短く箇条書きにまとめるようにした。
- イ 伝えたい内容に関するグラフを多く使うようにした。
- ウ 伝えたい内容の根拠を一語で明らかに示すようにした。
- エ 伝えたい内容を似たような三つの単語で表すようにした。

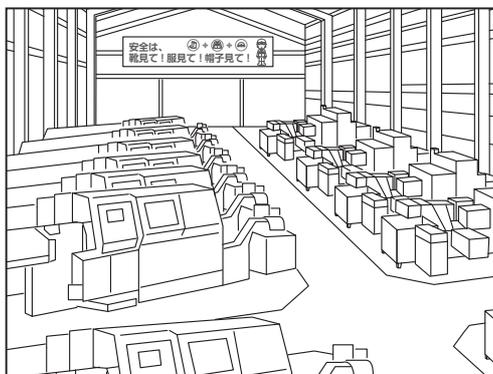
5

Ⅲ 鈴木さんたちは、発表時に、次のア～エの四枚のイラストを使う予定です。【発表練習の一部】のⅠ～Ⅴに当てはまるイラストとして、最も適しているものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

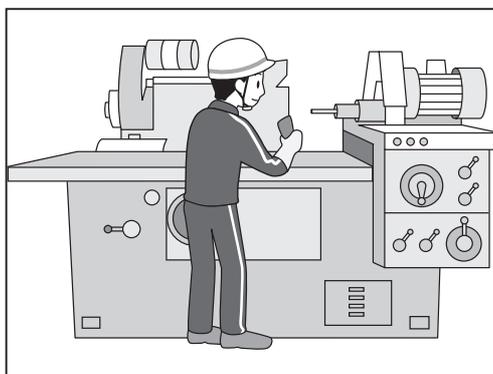
ア



イ



ウ



エ



## 6

【発表練習の一部】について、井上さんは、自分が発表する『安全は、靴見て！服見て！帽子見て！』、わかりますよね。」のところで、意図がしっかり伝わるように話したほうがよいのではないかという助言を受け、話す内容を次のように変えることにしました。

### 【変えた発表内容】

「安全は、靴見て！服見て！帽子見て！」、この言葉は、安全第一に仕事をするには、まず、靴をしっかりとっているか、また、作業服のボタンなどをきちんとかけているか、そして、帽子をまっすぐかぶっているかなどを確認しなさいという意味です。これらの乱れは、につながり、大きなけがにつながりますよということです。興味深い言葉ですね。

井上さんが変えた内容の

に当てはまる言葉を、

【発表練習の一部】

から五字で抜き出なさい。

7 クラスでの発表のあと、質問コーナーで、鈴木さんは、友だちの質問に対して次のように答えています。鈴木さんの答えの内容から、友だちはどのような質問をしたと考えられますか。「良い部品が」という言葉に続けて、**十五字**程度で書きなさい。

**【鈴木さんの答え】**

はい、その時は、そうですね、喜びと感動と興奮が一緒になったような気持ちでした。それまでは失敗ばかりだったのが、体験最終日に指導していただいた方から「これならぎりぎりの合格点をあげられるかな。」と言ってもらいました。

**【質問の内容】**

良い部品が

。

8 鈴木さんのクラスでは、「集中力と持続力」が大切だという観点で、自分の経験をもとにこれから心がけていきたいと思っていることを書くことに決めました。あなたならどのように書きますか。次の**条件1**～**3**にしたがって書きなさい。

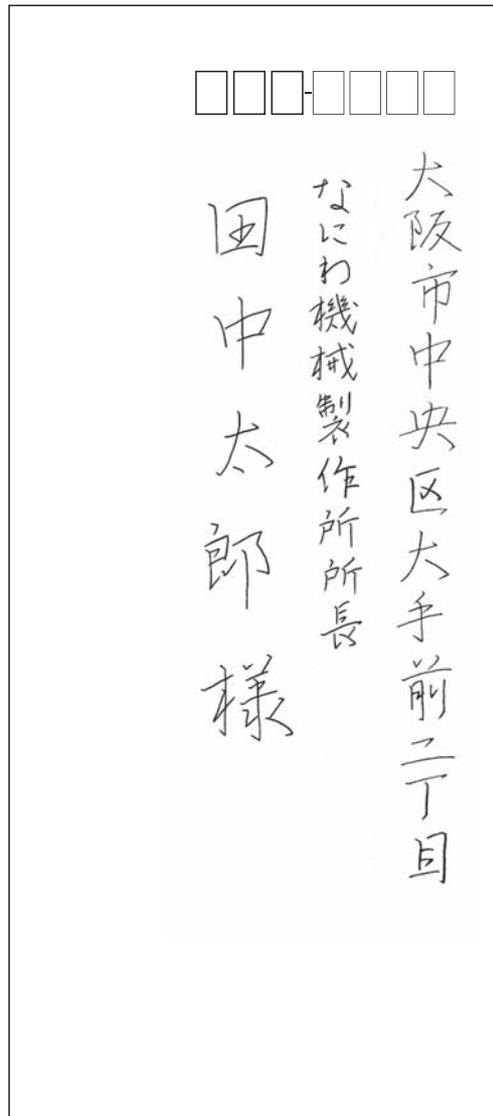
**条件1** 「集中力」と「持続力」の二つの言葉から、一つ選ぶこと。

**条件2** あなたが経験したことと、**条件1**で選んだ力の大切さを結びつけて書くこと。

**条件3** 七十字以上、百字以内で書くこと。

9

鈴木さんは、職場体験学習でお世話になった工場の方々に、学んだことなどを含めたお礼の手紙を書きました。鈴木さんが書いた次の宛名書きを見て、あとの問いに答えなさい。



- この宛名書きをより良い行書で書くための助言として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。
- ア 文字の間隔をそろえ、点画の連続に注意して書くといいよ。
  - イ 行頭の位置をそろえ、点画の省略に注意して書くといいよ。
  - ウ 行の中心に文字をそろえ、点画の丸みに注意して書くといいよ。
  - エ 上下左右の余白を取り、形や方向の変化に注意して書くといいよ。

問題は、次のページに続きます。

□

次は、エベレストなど七大陸最高峰登頂をはじめ、世界のあらゆる場所を旅しながら作品を発表し続けている写真家である石川直樹さんの文章です。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(石川直樹「いま生きているという冒険」より、一部改変)

1 本文中の次の漢字の読み方を書きなさい。

訪<sup>㉗</sup>

ねる

究極<sup>㉘</sup>

探<sup>㉙</sup>

したい

2

□

に当てはまる最も適している言葉を、本文中から四字で抜き出しなさい。

3

「不断の」の本文中の意味として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 決断できない

イ 断りきれない

ウ 時おり行われる

エ 絶え間なく続く

4 「冒険家という肩書きに違和感を抱く理由」とありますが、その説明として最も適しているものを次のア～エから一つ選びなさい。

ア 筆者は、自分が世間から冒険家と呼ばれる人以上の活躍をしており、ひとくくりに言ってほしくないと考えているから。

イ 筆者は、精神の冒険を追求することよりも、実際に見たり触れたりすることが、冒険家の仕事であると考えているから。

ウ 筆者は、生きること自体が冒険の連続であり、危険をかえりみず旅する人のみを冒険家と言うのではないと考えているから。

エ 筆者は、誰も経験したことがない登山や川下りや航海などをしてきた自分だけが、たった一人の冒険家であると考えているから。

5 「自分の内面をフィールドにした精神の冒険や想像力の旅を追求していくのがぼくの生き方です。」とありますが、これは筆者のある考えがもとになっています。その考えを書いた次の文の [ ] に当てはまる最も適切な言葉を、本文から八字で抜き出しなさい。

冒険や旅には、

[ ] に向き合うことが重要であって、その気持ちを常に持ち続けたいとの考え。

6 この文章に見られる表現上の特色として当てはまらないものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 別の言葉を使って、自分の思いや考えを読者にしっかりと伝えるよう説明している。
- イ 文末表現を工夫して、自分の思いや考えを読者にしっかりと伝えるよう説明している。
- ウ 倒置法や体言止めを使って、自分の思いや考えをわかってもらえるように説明している。
- エ 問いかけた上で主張をまとめ、自分の思いや考えがわかってもらえるよう説明している。

7 石川さんの文章の内容に関連する本を読み進めた青木さんは、石川さんの文章の内容を理解する上で参考になると  
思い、新たに読んだ本から次の箇所かしよを書き抜きました。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

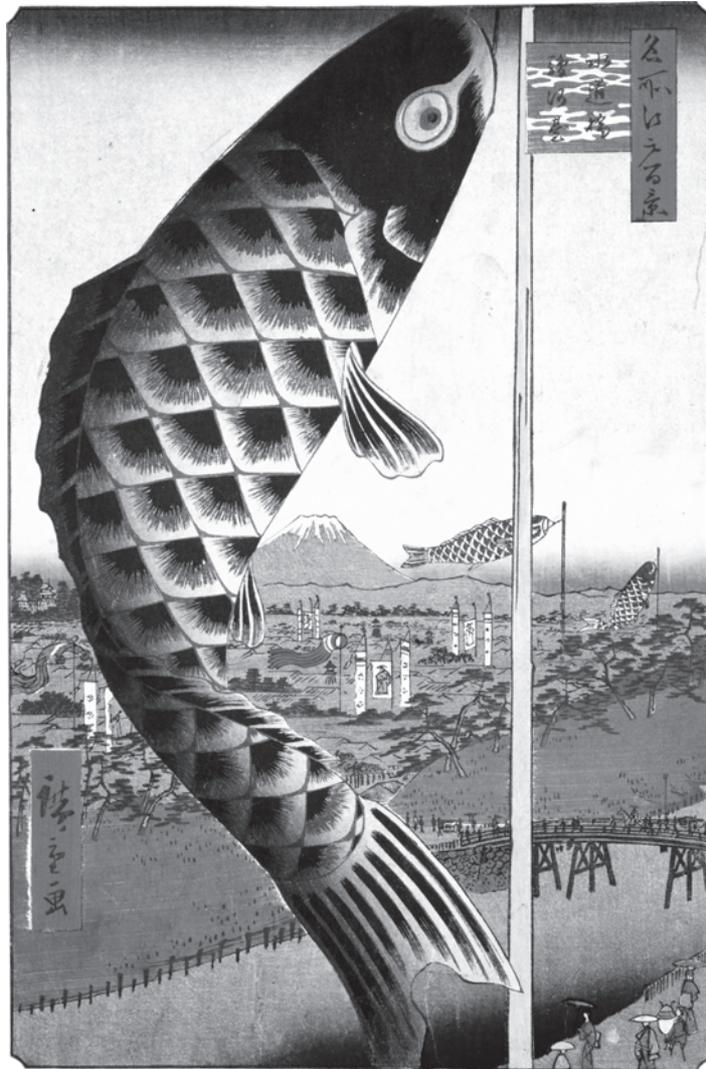
みうらゆういちろう  
(三浦雄一郎「私が冒険について語るなら」より、一部改変)

青木さんが書き抜いたのは、石川さんの文章中のどのような内容を理解する上で参考になると思ったからですか。  
その内容として最も適しているものを、次のア〜エから一つ選びなさい。

- ア 旅や冒険には、肉体的、空間的な意味あいだけではなく、精神的な部分ぶくも含まれる。
- イ 子どもは知り得ていたものなど何もないので、世界が発する声に耳を澄ますしかない。
- ウ 歳としをとり、世界と親しくなれば、改めて、世界との出会いを求めることもなくなる。
- エ ここではない別の場所に身を投げ出すことによって、人ははじめて旅の実感を得る。

【三】南さんは、浮世絵の鑑賞文を書こうとしています。次は、南さんが【鑑賞している浮世絵】、浮世絵を見て気づいたことや調べたことを書いた【付箋】、付箋を用いて書いた【鑑賞文の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【鑑賞している浮世絵】



国立国会図書館蔵

「名所江戸百景」

水道橋駿河台

歌川広重作

【付箋】

1 作者

歌川広重。  
江戸時代の浮世絵師。  
「東海道五十三次」が代表作。  
〔浮世絵入門〕より〕

2 風景

駿河台の端午の節句の日の様子。  
鯉のぼり。  
川にかかる橋。人の往来。  
武家屋敷。富士山。

3 表現

画面手前の巨大な鯉のぼり。  
画面奥の小さな富士山。  
奥行きがある。

4 影響

浮世絵は、色彩、構図の扱い、取り上げる題材がヨーロッパの美術に影響を与えた。  
ゴッホやモネなどの画家に影響。  
〔美術全集〕より〕

【鑑賞文の下書き】 ※ I～Vは段落の番号です。

I 最初に巨大な鯉のぼりが目に飛び込んできます。それは、風になびいて、勢いよく泳いでいます。鯉がクロージアップされた大胆な構図で描かれています。鯉のぼり、竿、山の描き方に特徴があります。

II 次に感想ですが、この絵を見てみると、私が、まるで鯉のぼりになったような気持ちになる。さわやかな風に吹かれているような感じがします。見下ろす風景の中から江戸の人々のイトナミが想像できて、その時代の空気に触れているような感覚になります。あれこれ思いをはせているうちに、時間を忘れてしまうフシギな絵です。

III この画期的な構図や取り上げる題材などが、ヨーロッパの画家たちに影響を与え、模写した画家もいます。例えば、ゴッホは、浮世絵の風景画を取り入れた作品も描いています。

IV グタイ的に説明すると、手前に巨大な鯉のぼりと竿が描かれ、右奥にも二匹の鯉のぼりが次第に小さく描かれて、手前から行き来する人、川、川にかかる橋、その奥には武家屋敷、さらに遠くには富士山が小さく見え遠近感を作り出し、鯉のぼりと富士山の間には川や家々などを描きいれて、景色をつなぎ、奥行きが広がっています。

V 最後にこの絵の感想を一言で表すと、「意外性」です。つまり、意表をつかれるということです。「こんな描き方もあったんだ。」と思い、びっくりしました。

1 【鑑賞文の下書き】の次のカタカナを漢字に直し、楷書かいしょで書いてねいに書きなさい。

⑦ イトナミ      ④ フシギナ      ⑤ グタイ的

2 南さんが書いた【鑑賞文の下書き】に、まだ、使えていない【付箋ふせん】があります。【付箋】1～4から一つ選び、その番号を答えなさい。

3 【鑑賞文の下書き】の段落Ⅱの「次に感想ですが、この絵を見ていると、私が、まるで鯉こいのぼりになったような気持ちになる。」は、他の文の表現と違います。他の文とそろえるように、「なる」を五字以内で適切に書きなおさない。

4 【鑑賞文の下書き】の段落Ⅳは、わかりにくいと、友だちから指摘しってきがありました。その理由を示した次の文の□に適している言葉を五字以内で書きなさい。

わかりにくい理由は、一文が□からです。

5 南さんは【鑑賞文の下書き】について、段落のつながりがおかしいと助言を受けて、段落Ⅱから段落Ⅳの順番を変えました。段落の順番として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 段落Ⅳ ↓ 段落Ⅱ ↓ 段落Ⅲ  
イ 段落Ⅳ ↓ 段落Ⅲ ↓ 段落Ⅱ  
ウ 段落Ⅲ ↓ 段落Ⅱ ↓ 段落Ⅳ  
エ 段落Ⅲ ↓ 段落Ⅳ ↓ 段落Ⅱ

6 南さんは、この絵について、さらにインターネットで調べました。調べた情報の中に、「この作品は、安政の大地震の被害を受けた町の復興を象徴しているともいわれている。」と書かれた文章がありました。「復興」とは、「いったん衰えたものが、再びもとの盛んな状態に返ること」と辞書にはあります。この情報を踏まえると、この絵のどんな点が町の復興を象徴していると、あなたは考えますか。南さんの【鑑賞文の下書き】を手がかりにして、次の条件1～3にしたがって書きなさい。

注 安政Ⅱ江戸時代の終わりの時期。

条件1 「町の復興を象徴している」と考えるものは、「**1**」という言葉に続けて書くこと。

条件2 根拠を示して書くこと。

条件3 五十文字以上、八十文字以内で書くこと。(解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。)

四 「現代にも通じる古人の教え（教訓）」が書かれている古文を見つけて、みんなで紹介し合う学習をしています。前田さんは、次の古文を選んで、紹介文を書きました。次の【古文】と【紹介文の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【古文】

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(中川喜雲「私可多咄」より、一部改変)

【紹介文の一部】

この話は、牛を描くことを得意とした唐の絵描きの名人、戴嵩が、自信作を、牛飼いの童に見せた時の話です。戴嵩が描いたのは、角を振り、尾を立てて闘<sup>たたか</sup>う牛の絵でした。戴嵩は、とても上手に描けたと思ったので、その絵を、多くの人たちに見せました。その後、牛飼いの童に見せて、その意見を聞き、なるほどと思うところがあったので絵を破りました。

〈中略〉

私は、牛飼いの童と戴嵩が対照的に描かれている点に気づきました。それは「あさゆふなるる」牛飼いの童に対して、戴嵩は「**A**」と描かれている点です。

私は、この古文を読んで、現代にも通じる教えとして、名人といわれる人は、反省を怠<sup>おこた</sup>らず、常に向上心をもつという**B**な態度が必要だということを読み取りました。

1 【古文】のひとしほうるはしく、を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

2 【古文】のいひし<sup>㊦</sup> とありますが、その動作を行っている人物として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 戴嵩<sup>たいすう</sup>
- イ 人々
- ウ 童<sup>わらわ</sup>
- エ 名人

3 【古文】のあやまりもやあるらん<sup>㊦</sup> を現代語になおしたものととして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 間違いがあっても知らない
- イ 間違いがあるかもしれない
- ウ 謝<sup>あやま</sup>るよりほかはない
- エ 謝<sup>あやま</sup>っても仕方がない

4 【古文】を、情景（事実）と作者の言いたいこと（主張）との前後二つの段落に分けるとすれば、どこで分けることができませんか。後段のはじめの五字を抜き出さない。

5 【紹介文の一部】の A に当てはまる言葉を、【古文】から四字で抜き出さない。

6 【紹介文の一部】に「なるほど」とありますが、【古文】ではどのように表現されていますか。【古文】から三字で抜き出さない。

7 【紹介文の一部】の B に当てはまる言葉として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- |   |                        |
|---|------------------------|
| ア | 高慢 <small>こうまん</small> |
| イ | 冷静                     |
| ウ | 真剣 <small>しんけん</small> |
| エ | 謙虚                     |